

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

補足資料 ページ	事業名	記者発表資料 掲載ページ	実施計画 掲載ページ
1	笑顔あふれる中心市街地の創出	8	3
2	駅前広場への路面電車の乗り入れ調査・検討	8	4
3	商店街のやる気のあと押し（商店街活性化支援事業）	9	30
4	城下町魅力めぐり（歴史まちづくり回遊社会実験）	9	26
5	お城とお庭のタイアップ（岡山城・岡山後樂園・出石周辺の魅力アップ事業）	9	27
6	岡山の歴史・文化に親しむ（岡山の歴史・文化に親しむ事業）	9	26
7	岡山駅のバリアフリー化への支援	10	4
8	吉備線LRT化計画素案の策定	10	4
9	自転車先進都市おかやま事業	10	4
10	生活交通確保に向けた取組	—	4
11	【「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けた取組と岡山モデルの発信】①世界会議推進事業	11	6
12	【「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けた取組と岡山モデルの発信】②地域におけるESD活動推進事業	11	6
14	岡山西部総合公園（仮称）の整備	13	8
15	離島・中山間地域における地域住民活動応援事業	13	9
16	健康みつ21公園（仮称）整備事業	13	12
17	市街化調整区域内における地区計画運用指針等の運用	13	9
18	地球温暖化対策の推進	14	10
19	一宮浄化センター施設整備事業	15	11
20	ごみ処理広域化対策岡山ブロック協議会における協議	15	11
21	岡南環境センター延命化事業	15	11

補足資料 ページ	事業名	記者発表資料 掲載ページ	実施計画 掲載ページ
22	西部リサイクルプラザ施設整備事業	15	11
23	資源化物全品目の月2回ステーション収集の推進	15	11
24	小型家電リサイクル事業	15	11
25	中学校区ではぐくむ！学力アップ事業	16	13
26	岡山っ子スタート・サポート事業	16	13
27	習熟度別サポート事業	16	13
28	ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー	16	15
29	教育に関する総合調査	16	16
30	女性が輝くまちづくり事業 女性の活躍促進に向けた調査・研究	17	18
31	女性が輝くまちづくり事業 女性の活躍応援のためのセミナー	17	18
32	子ども・子育て推進事業	17	19
33	保育士・保育所支援事業	17	19
34	放課後児童クラブの充実	17	19
35	「風しん」対策事業	17	19
36	ERを支える体制づくり（岡山市寄付講座及び連携大学院の開設）	18	20
37	（仮称）地域ケア総合推進センターのプレオープン	18	20
38	総合特区の推進	18	22
39	身体・精神合併症救急連携モデル事業	18	21
40	がん総合対策推進事業	19	23
41	歯と口腔の健康づくり条例関係事業	19	23
42	生活保護の医療扶助の適正実施	19	25
43	認知症施策推進事業	20	24
44	犬島において介護サービスを提供する訪問介護事業者等 に対する助成	20	25

補足資料 ページ	事業名	記者発表資料 掲載ページ	実施計画 掲載ページ
45	養護老人ホーム整備助成事業	20	25
46	生涯現役社会づくり事業	20	25
47	岡山市市民会館等整備事業	21	28
48	おかやまマラソン（仮称）	21	28
49	岡山市競技力向上事業	21	28
50	企業誘致ターゲット等の拡充	22	29
51	販路拡張助成事業	22	30
52	中小企業経営基盤強化事業	22	31
53	岡山市求人開拓事業	22	31
54	国際観光の推進（E S D世界会議に向けた外国人観光客の受入環境整備）	23	32
55	たけべ八幡温泉郷再整備事業	23	32
56	コンベンションシティの体制整備	23	32
57	海外M I C E等誘致戦略（海外シティプロモーション）	23	32
58	移住定住の支援	23	33
59	安全で安心な食の提供（地産地消の推進）	24	34
60	果物・野菜生産の担い手の確保・育成とブランド化の推進	24	34
61	有害鳥獣対策	24	34
62	北消防署整備事業	25	37
63	住宅・建築物耐震改修等補助事業	25	39
64	学校園耐震改修整備事業	26	36
65	下水道による浸水対策事業	26	37
66	東山斎場再整備事業	26	38
67	新斎場整備事業	26	38



# 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 笑顔あふれる中心市街地の創出

## 1 事業の趣旨

「回遊性の向上」と「魅力づくり」をキーワードに、市が主体的に取り組むことができる「回遊性の向上」に重点を置いた各種事業を推進していく。

## 2 事業内容

### 【まちなかをめぐろう】（C=150, 800千円）

- ①県庁通りぶらり歩き（C=44, 600千円）
- ②西川緑道公園筋フリーウォーク（C=32, 700千円）
- ③西川魅力にぎわいづくり（C=40, 000千円）
- ④歩きやすいまちなか案内表示（C=27, 000千円）
- ⑤まちなか回遊アプリ（C=6, 500千円）

### 【自転車・公共交通に乗ろう】（C=357, 200千円）

- ①「ももちやり」の拡充（C=78, 200千円）
- ②駅前広場への路面電車乗り入れ調査・検討（C=18, 000千円）
- ③自転車の走りやすい空間づくり（C=261, 000千円）

### 【魅力あふれる商店街】（C=27, 000千円）

- ①商店街のやる気のあと押し（C=27, 000千円）

### 【岡山の歴史や文化に触れる】（C=85, 417千円）

- ①城下町魅力めぐり（C=20, 000千円）
- ②お城とお庭のタイアップ（C=39, 417千円）
- ③岡山の歴史・文化に親しむ（C=10, 000千円）
- ④まちなか回遊ツアー（C=9, 000千円）
- ⑤市民会館のあり方検討（C=7, 000千円）

### 【まちなかに住む】（C=231, 400千円）

- ①快適な居住等の支援（市街地再開発事業）（C=229, 200千円）
- ②高齢者も安心な居住への支援（高齢者向け地域優良住宅）（C=2, 200千円）

## 3 事業費

(1) 歳出額	851, 817千円
(2) 財源内訳	
・国庫補助金	227, 250千円
・起債	176, 100千円
・一般財源	448, 467千円
合計	851, 817千円

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	操車場跡地整備等推進担当課長 赤坂 隆
電 話	内線 3592 直通 803-1042

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 駅前広場への路面電車の乗り入れ調査・検討

### 1 事業の趣旨

車中心から人優先へのまちづくりのため、路面電車の駅前広場への乗り入れは、回遊性の向上や、岡山駅利用者の利便性向上に繋がる施策であり、緊急に回遊性を向上させていかなければならない今、実現性について関係者と協議・検討を行い、問題点・課題を明らかにし、乗り入れ案（概略設計）を作成する。

### 2 事業内容

#### (1) 交通解析

駅前広場への乗り入れにおける交通への影響等を解析する。

#### (2) 既存の地下街構造・地下埋設物の調査

既存の地下街構造、地下埋設物に関する調査を行う。

#### (3) 概略設計

駅前広場への乗り入れの概略設計を実施し、既存施設等への影響を検証し、実施方法を検討する。

#### (4) 関係者との協議

警察，バス事業者，タクシー事業者，軌道事業者，JR西日本，一番街管理者など

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・都市交通戦略推進事業費 18,000千円

#### (2) 財源内訳

・交付金（補助率 国55%） 9,900千円

・一般財源 8,100千円 合計 18,000千円

担当課名	都市整備局街路交通課
担当者名	課長 平井道也
電 話	内線 3620
	直通 803-1374

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 商店街のやる気のあと押し（商店街活性化支援事業）

### 1 事業の趣旨

中心市街地における商業集積エリアの魅力向上を図るため、商店街振興組合等の商店街団体が自ら商店街の将来像や不足業種等を分析した活性化計画を作成し、活性化計画に沿った店舗誘致活動を行うことを支援する事業。

### 2 事業内容

#### (1) 対象者

商店街振興組合等の商店街団体

#### (2) 補助対象

- ・商店街活性化計画に沿った店舗誘致活動により空き店舗が利活用される場合に、その改装工事費用等の2/3を、840万円を上限として誘致店舗数に応じて補助する。
- ・商店街活性化計画の作成費用の2/3を、100万円を上限として補助する。
- ・商店街活性化計画に関するアドバイザー派遣費用の2/3を、30万円を上限として補助する。

#### (3) 実施方法

商店街団体が商店街活性化計画を策定して市の認定を受ける。認定された活性化計画に基づいて店舗誘致活動を実施する場合に、利活用された空き店舗の改装工事費等について、改装工事实施後に補助金を支給する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・店舗誘致（空き店舗改装費）補助金 22,800千円
- ・商店街活性化計画策定補助金 3,000千円
- ・専門家派遣補助金 1,080千円

#### (2) 財源内訳

- ・一般財源 27,000千円

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 堤 修治
電 話	内線 4520
	直通 803-1323

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 城下町魅力めぐり  
(歴史まちづくり回遊社会実験)

### 1 事業の趣旨

岡山城、後樂園を中心とした旧城下町エリア内の「回遊性の向上」をテーマとし、民間団体等が主体となって、現在の公共施設、公共空間等を活用し、地区の新しい魅力創出につながる社会実験を実施することにより、その効果や課題等を検証するとともに、その後の民間利用の可能性、条件整備等について検討を行う。

### 2 事業内容

#### (1) 実験内容

- 旧内山下小学校での飲食、物販などの企画提案事業
- 石山公園でのオープンカフェ、マーケットなどの企画提案事業
- 岡山城本丸での歴史・文化資産、アート等の展示などの企画提案事業
- エリア内の回遊路の演出

#### (2) 実験期間

平成26年8月～平成26年12月の土日祝日を基本に実施

#### (3) 実施主体

公募により事業者を募集

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・都心創生まちづくり回遊性向上社会実験 20,000千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 20,000千円

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 小野 典生
電 話	内線 3590
	直通 803-1042



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 お城とお庭のタイアップ（岡山城・岡山後樂園・出石周辺の魅力アップ事業）

### 1 事業の趣旨

観光客の更なる誘致や滞在期間の延長を目的に、岡山城の魅力アップや岡山後樂園、出石しろまち工房との連携により、岡山城、岡山後樂園、出石町周辺の回遊性を向上させ、本市の顔としての魅力アップを図る。

### 2 事業内容

- (1) 岡山城での宇喜多秀家・豪姫によるおもてなし  
岡山城で、本市のキャンペーンスタッフ宇喜多秀家・豪姫によるおもてなし事業を実施する。
- (2) 烏城灯源郷の期間延長と回遊ルートの魅力アップ  
岡山後樂園で実施する夏の「幻想庭園」との連携強化のため烏城灯源郷の期間を延長するとともに、月見橋や廊下門付近のライトアップを行う
- (3) 秋の烏城灯源郷の実施  
「ESDに関するユネスコ世界会議」開催期間中、「秋の幻想庭園」と同時期に「秋の烏城灯源郷」を実施する。
- (4) 岡山後樂園・岡山城等連携推進協議会の運営  
岡山後樂園と岡山城の一体的運営を図るため、岡山県、岡山市などからなる「岡山後樂園・岡山城等連携推進協議会」を運営する。
- (5) 出石しろまち工房の運営及び観光案内業務の強化、魅力発信企画の実施  
デジタルサイネージの整備や体験イベントの実施等を行う。

### 3 事業費

- (1) 歳出額
 

○岡山城での宇喜多秀家・豪姫によるおもてなし	1,500千円
○烏城灯源郷の期間延長と回遊ルートの魅力アップ	25,000千円
○秋の烏城灯源郷の実施	（上記に含む）
○岡山後樂園・岡山城等連携推進協議会の運営	2,500千円
○出石しろまち工房の運営及び観光案内業務の強化、魅力発信企画の実施	10,417千円
合 計	39,417千円
  
- (2) 財源内訳
 

・一般財源	39,417千円	合 計	39,417千円
-------	----------	-----	----------

担当課名	経済局 観光コンベンション推進課
担当者名	課長 橋本 哲哉
電 話	内線 4530
	直通 803-1332

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 岡山の歴史・文化に親しむ  
(岡山の歴史・文化に親しむ事業)

### 1 事業の趣旨

中心市街地の回遊性向上につなげるため、今日にいたる様々な歴史的由来等を広く現地で紹介し、市民にとっては「岡山の誇り」を高め、また、観光客に対しては「岡山の魅力」として発信することにより、市民や観光客がまち歩きを楽しめる環境を整備する。

### 2 事業内容

中心市街地において既存の案内板の調査を行い、実態を把握するとともに、追加する案内表示のコンセプト、設置箇所の選定及び案内板のデザイン等について検討し、短期的な整備計画を策定する。

これに基づき、平成27年度より中心市街地への案内板の追加整備を行う。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・委託料 10,000千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 10,000千円

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	操車場跡地整備等推進担当課長 赤坂 隆
電 話	内線 3592 直通 803-1042

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 岡山駅のバリアフリー化への支援

### 1 事業の趣旨

岡山駅は、新幹線を軸に四国及び山陰との結節点として1日約12万人の乗降客が利用し、平成18年には東西連絡通路整備及び橋上駅化に伴い、バリアフリー化が実現されたものの、乗降客の約4割が利用する地下改札については未だバリアフリー化されていない。そのため、JR・国・市が一体となってバリアフリー化を進めることにより、利用者の利便性向上を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 事業概要

- ・改札内の旅客地下道からホーム階までのエレベーターを新設（4基）
- ・改札内に多機能トイレを新設（1箇所）
- ・上記整備に伴う通路及びスロープの新設、警告誘導ブロックの整備、2段手摺、音声案内装置、触知案内図等の整備

#### (2) 事業主体

JR西日本㈱岡山支社

#### (3) 事業費

総事業費 450,000千円

（JR：200,000千円 国：150,000千円 岡山市：100,000千円）

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・都市交通戦略推進事業費 100,000千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 100,000千円 合計 100,000千円

担当課名	都市整備局街路交通課
担当者名	課長 平井道也
電 話	内線 3620
	直通 803-1374

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 吉備線LRT化計画素案の策定

### 1 事業の趣旨

岡山市都市交通戦略において、岡山市と総社市を結ぶ連携軸である『一宮・高松方面連携軸』が設定され、この連携軸のサービス水準の強化施策として位置付けられている吉備線LRT化について、計画素案の策定を行う。

### 2 事業内容

JR西日本、総社市等と協議しつつ、技術的な検討のほか、運行形態、経営形態、費用負担など、実現可能性の観点から検討を進め、議論のたたき台となる「LRT化計画素案」を策定する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・都市交通戦略推進事業費補助金 20,000千円

#### (2) 財源内訳

・交付金（補助率 国55%） 11,000千円

・一般財源 9,000千円 合計 20,000千円

担当課名	都市整備局街路交通課
担当者名	課長 平井道也
電 話	内線 3620 直通 803-1374

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 自転車先進都市おかやま事業

#### 1 事業の趣旨

誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、平成24年8月に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、各種施策を推進していく。

#### 2 事業内容

##### (1) 道路状況に応じた安全で快適な自転車走行環境の実現

実行戦略に基づき、市役所筋、後楽園通り、桃太郎通り等、多くの人や自転車が行き交う中心部の道路において、路線の状況に応じた整備手法で自転車走行空間の整備や路面の段差解消を行い、安全で快適な走行空間ネットワークの形成を目指す。

##### (2) 駐輪ニーズに応じた効果的な駐輪対策

北長瀬駅南口において、新市民病院開業に合わせて、歩行者連絡通路とともに駐輪場を整備する。また、駐輪場の容量が不足している岡山駅西口エリアについて、容量拡大のための新たな駐輪場整備に向けた測量設計を実施するなど、効果的な駐輪対策を実施する。

##### (3) コミュニティサイクル「ももちやり」

多くの方々に利用されている「ももちやり」について、さらなる利便性向上のため、岡山駅東口エリアにおいて、サイクルポートや自転車の増設を行い、まちなかの回遊性向上を図る。

##### (4) 自転車利用のルール・マナーの啓発

自転車利用ルールの周知やマナー向上を図るため、警察や地域の方々等の関係者と連携しながら、自転車レーンを整備する市役所筋など、多くの人や自転車が行き交う道路において、重点的に啓発活動を行う。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

・自転車走行環境等の整備	261,000千円
・駐輪環境の整備	350,000千円
・ももちやり	78,200千円
・自転車利用ルールの周知とマナーの向上	74,000千円
・その他事務費	1,800千円
合計	765,000千円

##### (2) 財源内訳

・国庫支出金（補助率 国 5.5/10）	284,350千円
・起債	162,400千円
・一般財源	318,250千円

担当課名	都市整備局街路交通課	都市整備局道路管理課
担当者名	担当課長 平澤 重之	課長 頼経 秀智
電 話	内線 3625 直通 803-1375	内線 3660 直通 803-1415

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 生活交通確保に向けた取組

### 1 事業の趣旨

路線バスの廃止などによる交通不便地域において、地域住民が主体となった協議会を設立し、その利用に住民が主体的に関与することにより自立的で継続可能な生活交通を確保するコミュニティバス等の運行に対し、岡山市が運行補助を行う。

### 2 事業内容

#### (1) 御津・建部コミュニティバス

路線バスの廃止により交通不便地域となった御津・建部地域において、生活交通を確保する為に地域住民による運営協議会を設立し、民間事業者によりコミュニティバスを運行していることに対し、その収支欠損額を岡山市が補填する。

#### (2) 足守地区生活バス

路線バスの廃止により交通不便地域となった足守地区において、生活交通を確保する為に地域住民による運営協議会を設立し、社会福祉法人恩賜財団済生会が過疎地有償運送を行っていることに対し、その収支欠損額を岡山市が補填する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・御津・建部コミュニティバス運行補助金 54,500千円
- ・足守地区生活バス運行補助金 3,960千円

合 計 58,460千円

#### (2) 財源内訳

- ・一般財源 58,460千円

担当課名	都市整備局街路交通課
担当者名	課長 平井 道也
電 話	内線 3620
	直通 803-1376

# 平成26年度当初予算（案）補足資料

## 〔事務事業名〕 【「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けた取組と岡山モデルの発信】①世界会議推進事業

### 1 事業の趣旨

世界会議の成功に向けて、会議の運営・支援体制の強化や世界会議のPR、おもてなし環境の充実を進めるとともに、国内外への岡山の魅力発信等を行うもの。

### 2 事業内容

【世界会議事業】（ESD世界会議推進局：284,000千円）

- ・世界会議の運営・開催支援事業
- ・世界会議の周知・啓発事業
- ・岡山ESDプロジェクトによるESD活動の推進

【世界会議の周知・気運醸成】（23,147千円）

- (1) 市庁舎を利用した世界会議PR事業（総務企画課庁舎管理室）
- (2) 「ESD&こどもエコフォーラム」への招聘（国際課：11,000千円）
- (3) ESDリレーシンポジウムの開催（環境保全課：3,233千円）
- (4) 岡山市清掃大作戦を利用した世界会議PR事業（環境保全課：708千円）
- (5) 公共交通機関（路面電車）を利用した世界会議・環境美化のPR（環境事業課：1,306千円）
- (6) ESD関連図書等整備事業（中央図書館：6,900千円）

【おもてなし・情報発信】（48,355千円）

- (1) 岡山市ジュニアオーケストラおもてなし演奏（こども企画総務課：1,400千円）
- (2) 公共交通機関（BDFラッピングバス）を利用した世界会議PR事業（産業廃棄物対策課：600千円）
- (3) 瀬戸内海魅力発信事業（観光コンベンション推進課：7,700千円）
- (4) 外国人観光客おもてなし（観光コンベンション推進課：11,155千円）
- (5) 歩きやすいまちなか案内表示（道路計画課・道路管理課：22,000千円）
- (6) 観光情報サイトによる情報発信（観光コンベンション推進課：5,500千円）

### 3 事業費

(1) 歳出額 355,502千円

#### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 11,033千円
- ・その他 3,000千円
- ・一般財源 341,469千円
- 合計 355,502千円

担当課名	ESD世界会議推進局
担当者名	審議監 内藤 元久 担当課長補佐 板野 直孝
電話	内線 3512 直通 803-1351

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 【「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けた取組と岡山モデルの発信】②地域におけるESD活動推進事業

### 1 事業の趣旨

ESD活動に取り組む人や組織間の連携を支援する仕組みづくり、学校教育や社会教育等へのESDの理念の浸透を図ること等を通じて、岡山地域のESD活動を推進するもの。

### 2 事業内容

- (1)岡山ESDプロジェクトによるESD活動の推進（ESD世界会議推進局：再掲）
- (2)ユネスコスクール推進事業（教育・指導課：13,000千円）
- (3)公民館におけるESD活動等の推進（中央公民館：15,200千円）
- (4)ESD市民活動推進事業（安全・安心ネットワーク推進室：4,500千円）
- (5)ESD職員研修（人事課人材育成室：646千円）
- (6)ESD見える化推進事業（833,826千円）  
（環境保全に係る学び）
  - ①足守ESD水辺教室（環境保全課：214千円）
  - ②環境パートナーシップニュースレターの作成・配布事業（環境保全課：468千円）
  - ③ライトダウンキャンペーンの実施（環境保全課：802千円）
  - ④ESDカーボンオフセット推進事業（産業廃棄物対策課：2,000千円）
  - ⑤3R普及啓発事業（環境事業課：1,240千円）
  - ⑥市内企業のESD活動推進事業（産業振興・雇用推進課：1,000千円）
  - ⑦下水道展等に併せたESDの理解促進事業（営業経理課：252千円）
  - ⑧犬島ESDキャンプ（生涯学習課：500千円）
  - ⑨親子環境学習サマースクール（生涯学習課：350千円）
- （国際理解に係る学び）
  - ⑩プロブディフ市姉妹都市締結40周年記念事業（国際課：1,311千円）
  - ⑪おかやまイングリッシュビレッジ事業（こども企画総務課：1,000千円）
  - ⑫特別展「なるほど古代エジプト！－最新エジプト学への招待－」（オリエント美術館：8,000千円）
  - ⑬写真展「文明の十字路、シリア－文化遺産とシリアのいま－」（オリエント美術館：1,000千円）
- （地域活性化・まちづくりに係る学び）
  - ⑭歴史まちづくり回遊社会実験事業（事業政策課：20,000千円）
  - ⑮未来へつなぐ森林体験事業（農林水産課：200千円）
  - ⑯まちなか探検隊（都市計画課：108千円）
  - ⑰子どもが緑に親しむ場所づくり事業（庭園都市推進課：3,200千円）
  - ⑱自転車先進都市おかやま事業（街路交通課：765,000千円）
  - ⑲「エコ通り」推進事業（道路管理課：16,200千円）



(健康福祉に係る学び)

⑳「健康市民おかやま21(第2次)」の推進(保健所健康づくり課:7,700千円)

(防災に係る学び)

㉑防災まちづくり学校(消防・危機管理課:251千円)

㉒防災に関する出前講座(消防・危機管理課)

(社会的公正に係る学び)

㉓憲法週間「市民のつどい」(人権推進課:2,190千円)

㉔男女共同参画の全国大会「日本女性会議2014札幌」への派遣研修(男女共同参画課:  
280千円)

(地域の歴史・文化遺産に係る学び)

㉕郷土芸能育成事業(観光コンベンション推進課:560千円)

### 3 事業費

(1) 歳出額 867,172千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 285,073千円  
・起債 162,400千円  
・その他 17,837千円  
・一般財源 401,862千円  
合計 867,172千円

担当課名	E S D世界会議推進局
担当者名	審 議 監 内藤 元久 担当課長補佐 板野 直孝
電 話	内線 3512 直通 803-1351

## 平成26年度当初予算補足資料

〔事務事業名〕 岡山西部総合公園（仮称）の整備

### 1 事業の趣旨

操車場跡地については、「健康・医療・福祉系施設導入区域」「総合公園区域」「市営住宅・社会福祉施設導入区域」の3つの区域に分けて整備を進め、都市ビジョンの目指す「水と緑の庭園都市」「総合福祉の拠点都市」のシンボルとなるまちづくりを推進するため、「総合公園区域（岡山西部総合公園（仮称））」の整備を行う。

### 2 事業内容

先行取得用地の買い戻し着手。  
実施設計を実施。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・用地取得費 4,113,000千円  
・測量委託料 70,000千円 4,183,000千円

#### (2) 財源内訳

・国補助金：用地（補助率 1/3） 1,002,621千円  
・国補助金：設計（補助率 1/2） 27,611千円  
・起債 1,829,500千円  
・一般財源 1,323,268千円

合計 4,183,000千円

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長補佐 末広嘉孝
電 話	内線 3681 直通 803-1392

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 離島・中山間地域における地域住民活動応援事業

### 1 事業の趣旨

離島（犬島）及び中山間地域（御津・建部）における急速な高齢化や人口減少の進行による空き家や耕作放棄地の増加、担い手の不足等の地域課題の解決に向け、地域住民自らが取り組む地域づくり活動を応援しようとするもの。

### 2 事業内容

#### （1）犬島

岡山県離島振興計画に従い、住民の暮らしを守り、交流人口の増加を図ること等を目的に、地元住民のほか芸術関係団体、大学等に参加を呼びかけながら持続可能な地域づくりに向けた効果的な手法等を調査・研究する。

#### （2）御津・建部地域

主に各小学校区単位で地域づくり活動を行う組織に対して、中山間地域の課題解決に向けて専門的知識やノウハウを有する大学やNPO団体の紹介を行うなどにより、持続可能な地域づくりに向けた効果的な手法等を調査・研究する。

### 3 事業費

#### （1）歳出額

・離島・中山間地域における地域住民活動応援事業 650千円

#### （2）財源内訳

・一般財源 650千円

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 小野 典生
電 話	内線 3590
	直通 803-1042

## 平成26年度当初予算補足資料

〔事務事業名〕 健康みつ21公園（仮称）整備事業

### 1 事業の趣旨

平成17年3月22日に岡山市と御津町の合併に伴う新市建設計画事業として「健康みつ21公園（仮称）整備事業」を実施することにより、新市の均衡ある発展及び住民一体性の促進に寄与するものである。

### 2 事業内容

本公園は、岡山市北区御津地域の北東に位置する岩井山の豊かな自然を生かした健康づくりや、公園区域内の古墳群を保全するとともに見学できる公園としての整備も行う。

平成26年度は、多目的広場の造成を行う。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・本工事費	230,000千円	
・測量試験費	6,000千円	
・墓地造成費	8,000千円	合計 244,000千円

#### (2) 財源内訳

・地方債	224,200千円	
・一般財源	11,800千円	
・一般財源（墓地）	8,000千円	合計 244,000千円

※実施計画の244,000千円のうち、多目的広場造成費236,000千円、墓地造成費8,000千円

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長補佐 末広嘉孝
電 話	内線 3681 直通 803-1392

担当課名	市民局生活安全課
担当者名	課長補佐 岡崎薫
電 話	内線 3231 直通 803-1033

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 市街化調整区域内における地区計画運用指針等の運用

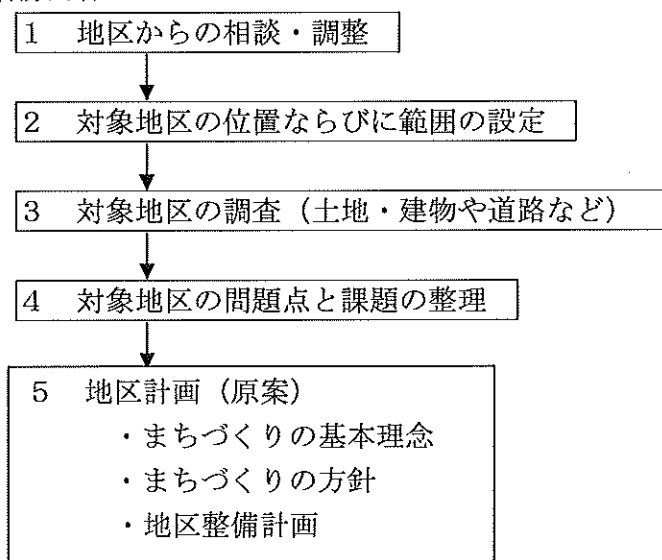
### 1 事業の趣旨

市街化調整区域における集落地域の維持や産業用地の確保などの課題に対応するため、新たに「市街化調整区域の地区計画運用指針」の運用を開始し、市街化区域における地区計画と併せて、住民主体のまちづくりを進める。

### 2 事業内容

地区計画の策定に向け、機運の高まりが見られる地区について、土地・建物や道路など、地区の現況等を調査し、課題や問題点を整理した上で、まちづくりの方針や地区整備計画の内容を検討し、地区計画原案を作成する。

業務内容



### 3 事業費

- (1) 歳出額           ・地区計画策定業務委託料           3,000千円
- (2) 財源内訳        ・一般財源                               3,000千円

担当課名	都市整備局都市計画課
担当者名	課長 林 恭生
電 話	内線 3630
	直通 803-1371

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 地球温暖化対策の推進

#### 1 事業の趣旨

地球温暖化問題の解決のためには、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑えた、低炭素で環境にやさしい都市づくりが必要です。

化石燃料に依存したエネルギーの消費を減らすため、太陽光発電システム等の再生可能エネルギーや省エネルギーの導入を進め、市民・民間事業者の皆さんと協働して温室効果ガス削減を図ります。

#### 2 事業内容

(1) 再生可能エネルギーの利用促進 827,194千円

- ・住宅用太陽光発電システム設置への助成
- ・市有施設等への太陽光発電システムを設置  
東区役所など11施設で合計335kWを導入

(2) 省エネルギーの推進 255,908千円

- ・住宅・事業所等への省エネ設備の導入助成
- ・LED灯の導入  
町内会管理の防犯灯のLED化への助成、市管理防犯灯のLED化等

(3) 電気自動車の普及促進 46,527千円

- ・電気自動車の導入、充電設備の設置を助成
- ・公用車への電気自動車導入、市有施設に充電設備の設置  
電気自動車を新規導入3台

一般開放急速充電設備を3箇所（東区役所、瀬戸支所、御津公民館）に新設

(4) 「自転車先進都市おかやま事業」 765,000千円

- ・補足資料9ページ再掲（走行環境整備、駐輪環境整備等）

#### 3 総事業費（岡山市全体の予算）

- ・歳出額 1,894,629千円
- ・財源内訳 国・県補助金 350,702千円  
その他 270,570千円  
一般財源 1,273,357千円

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 岡崎 泰治郎
電 話	内線 3990
	直通 803-1282

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### [事務事業名] 一宮浄化センター施設整備事業

#### 1 事業の趣旨

一宮浄化センターは、岡山市のし尿処理施設で最大の処理能力を有する重要な施設だが、処理施設の老朽化が進んでおり、改修時期を迎えている。

施設の大規模改修を行い、将来にわたる安定的な処理能力の確保や、設備の小型化、効率化による維持管理費の削減を図る。

#### 2 事業内容

- (1) 前処理脱水機の設置工事設計及びプラント設備の更新工事設計
- (2) 躯体の精密耐震診断及び耐震改修設計

#### 3 事業費

(1) 歳出額	45,000千円
(2) 財源内訳	
・地方債	33,700千円
・一般財源	11,300千円
合計	45,000千円

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 森本 俊喜
電 話	内線 3980
	直通 803-1311

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### [事務事業名] ごみ処理広域化対策岡山ブロック協議会における協議

#### 1 事業の趣旨

ダイオキシン類削減対策、マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクルの促進等を目的として、岡山県が策定した「新岡山県ごみ処理広域化計画」に基づいて、岡山市、玉野市、久米南町の2市1町で構成した岡山ブロック協議会を設立し、広域的なごみ処理の推進を図る。

#### 2 事業内容

協議会では、岡山ブロック内の現況を整理・把握するとともに今後の岡山ブロック内の施設整備方針や、広域処理の具体的内容について検討を行う。

予算は、岡山ブロックのごみ処理広域化を推進するため、岡山ブロック協議会において予定している、「ごみ処理広域化対策基本計画策定業務委託」等の事務的経費の負担金。

#### 3 事業費

(1) 歳出額	12,036千円
(2) 財源内訳	
・一般財源	12,036千円
合 計	12,036千円

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 森本 俊喜
電 話	内線 3980
	直通 803-1311



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### [事務事業名] 岡南環境センター延命化事業

#### 1 事業の趣旨

安全・安心で安定的な処理体制及び災害廃棄物の処理体制を確保するために、稼動開始から34年が経過した岡南環境センターの延命化工事を平成25年6月から平成27年3月まで行い、施設の稼動期間の延伸を図る。

#### 2 事業内容

##### (1) プラント設備

- 1) ボイラ水管肉盛
- 2) 低圧蒸気復水器の更新
- 3) 送風機・誘引通風機のインバータ制御化
- 4) 煙突の耐震化工事
- 5) 二酸化炭素削減のための発電システムの改造

##### (2) 建屋改修

#### 3 事業費

(1) 歳出額		1,070,000千円
(2) 財源内訳		
・国庫支出金		195,700千円
	(補助対象事業費の1/2)	
・地方債		682,600千円
・一般廃棄物処理施設整備基金繰入金		191,612千円
・一般財源		88千円
合 計		1,070,000千円

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 森本 俊喜
電 話	内線 3980
	直通 803-1311

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 西部リサイクルプラザ施設整備事業

### 1 事業の趣旨

資源化率の向上や埋立処分率の低減など、持続可能な資源循環型社会の形成の推進に寄与することを目的として、民間事業者のノウハウを活用するDBO方式により、西部リサイクルプラザを整備する。

### 2 事業内容

(1) 建設場所 岡山市北区野殿西町428-2 (敷地 約9,400㎡)

(2) 施設規模 43t/日

粗大ごみ処理施設：粗大ごみ、不燃ごみ 26t/日

資源選別施設：空きびん、ペットボトル、古紙・古布 17t/日

その他 乾電池、トレイ、蛍光管等

(3) 啓発施設 (西部リユースぷらざ)

修理・再生、展示・販売等

(4) 稼働予定 平成27年1月

### 3 事業費

(1) 歳出額 1,960,500千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 580,510千円

(補助対象事業費の1/3)

・地方債 1,148,600千円

・一般廃棄物処理施設整備基金繰入金 185,007千円

・一般財源 46,383千円

---

合 計 1,960,500千円

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	西部リサイクルプラザ担当課長 近藤 正一郎
電 話	内線 3981 直通 803-1312

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 資源化物全品目の月2回ステーション収集の推進

### 1 事業の趣旨

資源循環型社会の構築を推進するため、西部リサイクルプラザ稼動を期に、資源化物全品目の月2回ステーション収集を実施する。

### 2 事業内容

現在市が行っている月2回の資源化物のステーション収集については、1回は全品目、もう1回は、古紙、古布、ペットボトルについてのみ行っているが、2回とも全品目について収集を行う。

#### (1) 回収品目

- ・古紙、古布、ペットボトル、缶、ビン、てんぷら油、廃乾電池等

#### (2) 開始時期

西部リサイクルプラザの稼動にあわせ実施予定。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・ごみ収集等業務委託料 30,000千円

#### (2) 財源内訳

- ・一般財源 30,000千円

担当課名	環境局環境事業課
担当者名	課長 則武秀昭
電 話	内線 3970
	直通 803-1298

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 小型家電リサイクル事業

#### 1 事業の趣旨

レアメタルや貴金属などの埋もれた資源を有効活用するとともに、有害物質の適正処理による環境汚染防止を行うため、使用済小型家電の回収を実施するもの。

#### 2 事業内容

市が分別収集した回収品を国が適正処理可能と認定した事業者（認定事業者）に引渡すことにより、使用済小型家電のリサイクルを図る。

##### （1）回収方法

###### ①拠点回収

市有施設や家電小売店、ホームセンターなどへの回収ボックスの設置による回収や店頭での対面による回収など。

###### ②イベント回収

イベント会場内への回収ブースの設置による回収。

##### （2）回収品目

小型家電リサイクル制度で定められた特定対象品目（携帯電話、デジタルカメラ等の比較的小型のもの）のすべてを対象とする。ただし、イベント回収については、回収品目を限定する場合がある。

##### （3）開始時期

西部リサイクルプラザの稼動にあわせ、平成27年1月から本格実施予定。

#### 3 事業費

##### （1）歳出額

・回収用品購入費、啓発用品購入費、啓発チラシ印刷費  
6, 390千円

##### （2）財源内訳

・一般財源 6, 390千円

担当課名	環境局環境事業課
担当者名	課長 則武秀昭
電 話	内線 3970
	直通 803-1298

平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 中学校区ではぐくむ！学力アップ事業

1 事業の趣旨

「読解力」「表現力」「学ぶ意欲」など本市共通の学力に関する課題の解決に向けて、就学前教育から中等教育までの学びを連続させる一貫教育の体制づくりを岡山大学等と連携しながら中学校区を挙げて推進する。

2 事業内容

- ・ 幼小合同、小中合同の教科等別研究会を大学教授等と連携しながら実施し、教科等についての一貫教育研究を深める。
- ・ 大学教授等が参加する学校訪問と中学校区の教職員を対象とした研修会を実施することで、各中学校区における課題解決の状況分析と評価をする。
- ・ 一貫教育を充実させる基盤づくりをする。  
幼小中教員向けに「岡山型一貫教育に向けた保育・授業パンフレット」を作成・配付するとともに小中教員向け「学習評価パンフレット」を作成・配付する。  
さらに、児童用学習プリントを作成・配付し、学力向上のための課題発見と授業改善に役立てる。

3 事業費

(1) 歳出額

- ・ 中学校区ではぐくむ！学力アップ事業費

合計 3,900千円

(2) 財源内訳

- ・ 一般財源 3,900千円

合計 3,900千円

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 堀井 博司
電 話	内線 3840 直通 803-1590

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 岡山っ子スタート・サポート事業

### 1 事業の趣旨

小学校第1学年において、学級担任の補助を行う支援員を配置し、生活指導や学習指導のつまずきの早期発見・早期解消を支援し、学習面と生活面の基礎・基本の充実を図り、義務教育の円滑なスタートを切ることができるように支援する。

### 2 事業内容

#### (1) 対象者

小学校第1学年で1学級あたり30人以上の児童のいる学級に岡山っ子スタート・サポーターを配置する。

#### (2) 実施方法

- ・H26年度より通年で支援員を配置し、学級担任との2人体制で指導する。（H25年度は、4月から12月までの配置で3学期は配置していなかった。）
- ・支援員の任用には、教員免許状を必要としない。
- ・児童の学習活動や学校生活が円滑で効果的に行われるように、支援員は、次のような業務を担当する。
  - ・学級担任の指示に基づいて生活指導及び学習指導の補助をする。
  - ・学習及び生活の規律が確立できていない児童への対応をする。
  - ・給食の準備及び片付け並びに食事についての指導をする。
  - ・児童の体調不良、小さなトラブル等への対応をする。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・岡山っ子スタート・サポート事業費 140,600千円

#### (2) 財源内訳

・国庫支出金（国1／3） 39,904千円  
・一般財源 100,696千円

担当課名	教育委員会事務局学事課
担当者名	課長 三宅泰司
電 話	内線 3830
	直通 803-1586

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 習熟度別サポート事業

### 1 事業の趣旨

小学校2～6年生の授業において、小さな集団による習熟度別の授業を行うことで、基礎・基本の確実な習得を図り、児童一人一人の学力向上を目指す。

### 2 事業内容

#### (1) 対象者

原則として、小学校2～6年生の児童を対象に算数や国語の習熟度別の授業を行う。

#### (2) 実施方法

- ・小学校（1学級あたりの平均児童数10人未満の学校を除く。）に1人ずつ習熟度別サポーターを配置する。25学級（特別支援学級を除く。）以上で教員1人当たりの児童数20人以上の学校にはさらにもう1人配置する。
- ・習熟度別サポーターの任用には、教員免許状を必要とする。
- ・習熟度別サポーターによる授業を受けることについて本人・保護者に打診し、同意を得て実施する。
- ・1日2～3時間、週12時間程度10人未満のグループで指導する。
- ・習熟度別の授業を行うか放課後学習指導を行うかは、学校が選択できる。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・習熟度別サポート事業費 43,200千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 43,200千円

担当課名	教育委員会事務局学事課
担当者名	課長 三宅泰司
電 話	内線 3830
	直通 803-1586

## 平成26年度当初（案）補足資料

〔事務事業名〕 ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー

### 1 事業の趣旨

学校が抱えるいじめ・暴力行為・不登校などの諸課題に対して、多面的なアプローチを行うことで、一体的に解決を図る。

### 2 事業内容

- ・共に成長し合う学級集団づくり推進事業（拡充） 48,000千円  
学級満足感や学校への適応感を測定する質問紙による検査を市内全小中学校で年3回実施し、児童生徒理解を進める。
- ・スクールカウンセラー配置事業（拡充） 35,100千円  
心の専門家である臨床心理士等を全中学校と一部の小学校へ配置し、児童生徒やその保護者、教職員の相談に対応する。
- ・不登校児童生徒支援員配置事業 40,800千円  
小中学校に支援員を配置し、登校できにくくなっている児童生徒に対して、別室での支援や登校支援等を行う。
- ・学校問題解決サポート事業 10,700千円  
解決困難な事案に対し、弁護士等の有識者によるサポートチームが解決支援を行う。また、研修会や臨床心理士等の緊急派遣を行う。
- ・いじめ専門相談員派遣事業（新規） 5,500千円  
相談員を学校へ派遣し、いじめ防止のために学校に設置される組織に参加する。また、いじめの指導や支援に関する助言、緊急的・継続的な相談支援を行う。いじめ専用ダイヤルを教育相談室に設置する。
- ・教育相談室・適応指導教室整備事業 192千円  
不登校等の悩みに対し、相談・指導を行う教育相談室と適応指導教室の体制強化を行う。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

合計 140,292千円

#### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 11,700千円
- ・一般財源 128,592千円

合計 140,292千円

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 堀井 博司
電 話	内線 3840
	直通 803-1590



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 教育に関する総合調査

### 1 事業の趣旨

岡山市の児童生徒の学習習慣や生活習慣，保護者や教職員の教育に関する意識を把握することで，その調査結果を教育施策の効果的な進行管理や各学校園の教育計画の作成等に生かし，子どもの学力向上や問題行動の解決につなげる。

### 2 事業内容

岡山市教育振興基本計画の適正な進行管理を行う上で必要な政策・施策の成果指標に係る調査と，毎年学校園で行っている学校評価に係る調査を一体化し，全市一斉に実施する。

#### (1) 対象

小中学校・高等学校の全児童生徒，幼稚園・小中学校・高等学校の全保護者及び全教職員

#### (2) 実施時期

年1回。10月から11月の間で各学校園が実施時期を選ぶ。

#### (3) 実施方法

マークシート又は丸付けによる4件法（一部5件法）で，最大50項目のアンケート調査を行う。調査項目については，市の共通項目（下学年児童用12問，その他15問）に加えて，各校園独自の項目を設ける。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・教育に関する総合調査事業費 4,600千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 4,600千円

担当課名	教育委員会事務局 教育企画総務課
担当者名	課長 長瀬 尚樹
電 話	内線 3810 直通 803-1571

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

### 女性の活躍促進に向けた調査・研究

#### 1 事業の趣旨

女性の活躍促進に向けた企業の取り組み状況について市内の企業にアンケート調査を実施し、企業の実態、ニーズ等を把握・分析することで、女性の活躍促進に向けた施策につなげる。

#### 2 事業内容

##### (1) 調査概要

岡山市内の企業に対しアンケート調査を郵送により実施。

##### (2) 調査の方向性

分析により、企業における女性の活躍の状況・課題、また、企業における好事例の抽出等を行い、市の施策に反映させるための基礎資料とする。

##### (3) 施策への反映

調査の集計・分析結果から、市の行う施策・方向性に反映させる。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

・女性の活躍促進に向けた調査・研究事業 2,600千円

##### (2) 財源内訳

・一般財源 2,600千円

担当課名	市民局男女共同参画課
担当者名	課長 好本 信明
電 話	内線 3735
	直通 803-1115

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

### 女性の活躍応援のためのセミナー

#### 1 事業の趣旨

「学生を含むさまざまなライフ・ステージの女性全般」のための著名な講師によるセミナーを開催し、女性の活躍促進のためのきっかけをつくる。

#### 2 事業内容

##### (1) 女性の活躍応援のためのセミナー

日本を代表する著名な講師から、最先端のキャリアデザインについて知り、学び考える機会を作ること、女性が活躍するためのきっかけをつくる。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

・女性の活躍応援のためのセミナー 729千円

##### (2) 財源内訳

・一般財源 729千円

担当課名	市民局男女共同参画課
担当者名	課長 好本 信明
電 話	内線 3735
	直通 803-1115

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 子ども・子育て推進事業

### 1 事業の趣旨

国の大幅な制度改革に対応しつつ、子どもたちが心豊かに育つためのより良い環境づくりを推進するとともに、子育て支援の一層の充実を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 子ども・子育て支援新制度への対応

- 新制度に係る制度管理電算システムの構築
- 市町村子ども・子育て支援事業計画の策定
- 新制度の市民等への周知・広報
- 認可基準、運営基準等の策定及び周知
- 支給認定、費用・利用者負担等の基準策定

#### (2) 施設配置の検討及び幼保一体化の推進

- 「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」に基づく施設配置の検討と対応
- 幼保一体化に向けた試行的な取組に伴う施設整備

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・子ども・子育て支援新制度への対応事業 17,400千円
  - ・最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進事業 573,600千円
- 合 計 591,000千円

#### (2) 財源内訳

- ・一般財源 160,800千円
  - ・起 債 430,200千円
- 合 計 591,000千円

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 景山 泰
電 話	内線 4730 直通 803-1430

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 保育士・保育所支援事業

### 1 事業の趣旨

保育士の専門性向上と質の高い人材を安定的に確保するため、潜在保育士の就職や保育所の潜在保育士確保支援を行う。

### 2 事業内容

保育園・幼稚園課内に「保育士・保育所支援センター」を開設し、コーディネーター1名を配置し、以下の事業を実施する。

- (1) 市内の認可保育所の求人情報の提供
- (2) 再就職研修の実施
- (3) 保育所体験の実施

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・ 3, 154千円

#### (2) 財源内訳

・ 県支出金（補助率 県1／2） 1, 577千円  
・ 一般財源 1, 577千円 合計 3, 154千円

担当課名	岡山っ子育成局保育園・幼稚園課
担当者名	課長 森本 章男
電 話	内線 4710 直通 803-1225

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 放課後児童クラブの充実

### 1 事業の趣旨

小学校に就学しているおおむね十歳未満の児童であつて、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るため、放課後児童クラブの運営の支援や施設の整備を行う。

### 2 事業内容

(1) 児童クラブ運営費補助 480,000千円

(内訳)

- ・運営委員会方式（84クラブ） 473,093千円
- ・私立保育園実施（5クラブ） 6,303千円
- ・ミニ児童クラブ（1クラブ） 604千円

内容の改正

・障害児加算の充実

受入している 障害児数	現行補助額 (単位：千円)	改正案 (単位：千円)
4人まで	1,577	1,608
5～8人	2,070	2,110
9人以上	2,563	2,613

(2) 施設の維持、運営、整備等 172,926千円

### 3 事業費

(1) 歳出額

・放課後児童健全育成事業費 652,926千円

(2) 財源内訳

・国補助金（補助率 国1/3、市2/3） 203,009千円

・地方債（合併推進債） 81,900千円

・その他財源 589千円

・一般財源 367,428千円

合計 652,926千円

担当課名	岡山っ子育成局 こども企画総務課
担当者名	課長 奥野淳子
電 話	内線 4760 直通 803-1220

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 「風しん」対策事業

### 1 事業の趣旨

妊娠中の女性が風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんに難聴や聴覚障害等の障害が発生する、先天性風しん症候群（CRS）の患者が全国で報告されている。風しんの感染及び蔓延を防止し、生まれてくる赤ちゃんを先天性風しん症候群（CRS）から守るため、風しん抗体検査及び風しんワクチン助成事業を実施する。

### 2 事業内容

#### (1) 風しん抗体検査事業

対象者：妊娠を希望している女性（抗体検査歴、接種歴、既往歴のある者を除く。）

助成額：6,600円／人（国 補助基準額）

実施方法：医療機関へ委託し実施

#### (2) 風しんワクチン助成事業

対象者：妊娠を希望している女性及びそのパートナー

助成額：7,000円／人（上限）

実施方法：償還払い

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

ア 風しん抗体検査事業 13,780千円

イ 風しんワクチン助成事業 28,720千円

#### (2) 財源内訳

国補助金（補助率 国1／2（風しん抗体検査事業）） 6,600千円

一般財源 35,900千円 合計 42,500千円

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 荒島 茂樹
電 話	内線 5750
	直通 803-1251

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 ERを支える体制づくり

（岡山市寄付講座及び連携大学院の開設）

### 1 事業の趣旨

岡山地域の地域医療に関する研究教育と人材育成を図る寄付講座を設置するとともに、岡山大学と市民病院が連携し、全国初となる実践総合診療分野での連携大学院を開設する。

### 2 事業内容

(1) 地域医療学講座（岡山市寄付講座） （32,000千円）

平成22年度から岡山大学に開設した寄付講座において、岡山地域の地域医療に関する研究教育を行い、その研究成果の普及と人材育成を行う。

平成26年度～平成28年度 総額96,000千円

（32,000千円×3年間 債務負担行為設定）

(2) 連携大学院の設置

地域医療を担う総合診療を行う医師の育成等を目的に、本市市民病院において総合診療医として勤務し、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科において実践総合診療学の博士課程を学ぶことのできる連携大学院を開設（平成26年4月開設予定）。

### 3 事業費

(1) 歳出額 32,000千円

(2) 財源内訳

一般財源 32,000千円

担当課名	保健福祉局 新病院・保健福祉政策推進課
担当者名	保健・医療・福祉連携担当 課長 福井 貴弘
電 話	内線 3951 直通 803-1638



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 （仮称）地域ケア総合推進センターのプレオープン

### 1 事業の趣旨

病気や加齢により療養を余儀なくされた患者やその家族が、安心して療養の場所を選択し生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護サービスの総合的な相談・情報提供をする窓口機能と、医療・介護に携わる専門職が連携し多職種協働による在宅医療支援体制を構築するための在宅医療連携拠点機能を併せ持つ（仮称）地域ケア総合推進センターを、平成27年度開設の新市民病院内に設置し、市民が予防・診療から介護まで切れ目ないサービスを受けることのできる仕組みづくりを推進する。それに先駆けて、市役所内に（仮称）地域ケア総合推進センターをプレオープンさせる。

### 2 事業内容

- プレオープンする（仮称）地域ケア総合推進センターを、市民や保健・福祉・医療専門職に広く周知するため、チラシ及びポスターを作成・配付（広報・周知）
- 職種や専門分野の違いによる連携障壁を解消するための多職種ネットワークの構築、在宅を担う人材の量・質的增加の促進及び市民への普及啓発を行う。

### 3 事業費

- (1) 歳出額 23,000千円
- (2) 財源内訳
  - 一般財源 23,000千円

担当課名	保健福祉局 新病院・保健福祉政策推進課
担当者名	保健・医療・福祉連携担当 課長 福井 貴弘
電 話	内線 3951 直通 803-1637

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 総合特区の推進

#### 1 事業の趣旨

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進める。

#### 2 事業内容及び事業費

##### （1）デイサービス改善インセンティブ事業 （10,700千円）

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図る。

（財源内訳）

・国補助金 9,200千円 ・一般財源 1,500千円

##### （2）介護機器貸与モデル事業 （87,119千円）

在宅で生活する人の利便や自立につながる最先端の介護機器を1割負担で貸与する。

（財源内訳）

・国補助金 31,841千円 ・県補助金 15,920千円  
 ・一般財源 15,920千円 ・その他 23,438千円

##### （3）介護予防ポイント事業 （13,400千円）

過去に介護保険の認定を受けていた人で現在認定を受けていない高齢者が、フィットネスクラブ等を利用した場合にポイントを付与し、貯まったポイントを換金します。

（財源内訳）

・国補助金 3,350千円 ・県補助金 1,675千円  
 ・一般財源 1,675千円 ・その他 6,700千円

##### （4）国との協議等にかかる経費 （5,280千円）

（財源内訳）

・一般財源 5,280千円

担当課名	保健福祉局 新病院・保健福祉政策推進課
担当者名	保健・医療・福祉連携担当 課長 福井 貴弘
電 話	内線 3951 直通 803-1638

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 身体・精神合併症救急連携モデル事業

### 1 事業の趣旨

精神科医療機関と救急病院の連携を支援する全国初の事業を実施し、身体・精神合併症患者を受け入れる体制づくりを進める。

### 2 事業内容

救急病院から身体疾患と精神疾患を有する救急患者について相談があった際、電話での対応や往診によりバックアップするとともに、精神科医療機関と身体疾患に対応できる医療機関の連携のあり方を検証する事業を精神科病院に委託する。

### 3 事業費

(1) 歳出額 7,400千円

(2) 財源内訳

一般財源 7,400千円

担当課名	保健福祉局 新病院・保健福祉政策推進課
担当者名	保健・医療・福祉連携担当 課長 福井 貴弘
電 話	内線 3951 直通 803-1637

〔事務事業名〕 がん総合対策推進事業

1 事業の趣旨

岡山市がん対策推進条例に基づき、がんに対する総合的な施策を推進する。

2 事業内容

(1) 岡山市がん対策推進委員会の開催 (688千円)

岡山市がん対策推進条例に基づき、委員会を開催し、がんに関する総合的な施策についての検討を行う。

(2) がんの予防

ア がんに関する教育の推進 (92千円)

中高生を対象としたがん教育資料を作成し、後楽館高校において、医師、がん患者、市職員等によるがんに関する授業を実施する。

イ (新)禁煙治療費の一部助成 (2,367千円)

若年等のため禁煙治療が保険適用外となる禁煙希望者に対し、治療費の一部(7割、上限30,000円)を助成することで支援を行い、がんや循環器疾患等の生活習慣病を予防する。

※ 別途、国保特会で789千円を計上。

(3) がんの早期発見

ア がん検診の実施 (1,027,418千円)

がんの早期発見に資するため、市民にがん検診の受診機会を提供する。

イ (改)働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業 (134,208千円)

子宮がん及び乳がん検診について、個別受診勧奨を実施するとともに、検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図る。

ウ (新)40歳休日セット健診 (1,891千円)

特定健診や主ながん検診がスタートする40歳の国保被保険者のうち希望者を対象に、休日セット健診(特定健診+胃・肺・大腸がん検診)の無料実施又は特定健診助成券(無料券)の交付を行い、若年層における健診習慣の定着を図る。

※ 別途、国保特会で2,481千円を計上。

エ (新)精密検査受診勧奨強化 (929千円)

本市における年齢調整死亡率が上位である胃がん及び肺がんについて、精密検査の受診勧奨を行い、精密検査受診率の向上を図る。

オ (新)乳がん検診の啓発 (555千円)

ピンクリボン運動を活用し、企業との協働による乳がん検診の普及啓発を行う。

(4) がん患者の負担の軽減 (151千円)

がん患者及びその家族等に対する相談体制の充実強化のため、がん相談支援センターやがん患者会を紹介するがん相談窓口案内カード等を作成し、配付する。

3 事業費

(1) 歳出額

事業内容に記載のとおり

(2) 財源内訳

国補助金(補助率 国1/2又は1/3)	87,954千円
健康診査等使用料	130,000千円
一般財源	950,345千円
合計	1,168,299千円

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 荒島 茂樹
電 話	内線 5750
	直通 803-1251

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 歯と口腔の健康づくり条例関係事業

### 1 事業の趣旨

本市の歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生涯にわたる健康の増進に寄与するために、岡山市歯と口腔の健康づくり条例が制定され、平成25年4月1日から施行された。本条例に基づく岡山市歯科保健基本計画の具体的な推進として、平成26年度から下記の新たな事業を実施する。

### 2 新規事業内容

#### (1) 入通所介護施設等への口腔ケア等導入支援事業

利用者の歯科口腔衛生の向上を目指す入通所介護施設に対して歯科医師や歯科衛生士を派遣して歯科検診や口腔ケアを実施し、併せて介護施設職員に口腔ケアについての技術研修を行う。

#### (2) 「嚙ミング30」運動推進

ひとくち30回嚙むことを通じて、歯と口を十分に使った食べ方による食育推進と国民の健康増進を目的として、厚生労働省が提唱する「嚙ミング30」運動を推進する。（専用機器を導入しての咀嚼力調査、普及啓発用ポスターの作成）

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・入通所介護施設等への口腔ケア等導入支援事業委託料	2,960千円
・「嚙ミング30」運動推進	1,088千円
・子どもの歯の相談、地区衛生教育、フッ素洗口等	4,032千円
(合 計)	8,080千円

#### (2) 財源内訳

・国補助金（補助率 国1/2）	1,480千円
・保健所使用料（フッ素塗布）	1,367千円
・一般財源	5,233千円
(合 計)	8,080千円

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 荒島 茂樹
電 話	内線 5750
	直通 803-1251

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 生活保護の医療扶助の適正実施

### 1 事業の趣旨

生活保護受給者の不適切な受診の防止及びジェネリック医薬品の利用促進を図るとともに、受給者本人への健康増進指導を行うことにより医療扶助の適正化を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 医療扶助適正化推進員（嘱託7人）配置

専門的知識を有する嘱託員を配置し、診療報酬明細書の資格点検、他法他施策の優先活用、不適切受診の改善指導、ジェネリック医薬品の利用促進等を実施する体制を強化し、医療扶助の適正化を図る。

#### (2) 医療扶助の点検充実

##### ①診療報酬明細書等点検業務委託

国が示す要領に基づき、診療報酬明細書等の内容点検を実施し、疑義のある請求については支払基金に再審査を求め、医療扶助の適正な支出を図る。

##### ②診療報酬等内容分析業務委託

診療報酬等の内容を分析し、本市の医療扶助の実態を把握するとともに、その課題の分析をもとに効果的な対策を講ずることにより医療扶助の適正化を図る。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・嘱託人件費（報酬等）	19,193千円
・委託料	12,449千円
・旅費・需用費	191千円

#### (2) 財源内訳

・国補助金（補助率 国10/10）	31,818千円
・一般財源 15千円	合計 31,833千円

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 山田 秀和
電 話	内線 5941
	直通 803-1215

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 認知症施策推進事業

### 1 事業の趣旨

認知症ケアの強化を目指した「岡山市における認知症施策の指針（岡山市版オレンジプラン）」に沿って、“認知症になっても本人の意思を尊重し、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会”を目標に、地域での医療や介護、見守りなどの日常生活支援サービスを包括的に提供する体制づくりを目指す。

### 2 事業内容

#### （1）基本的な方向性

- 1) 早期受診と対応に向けた「認知症ケアパス（ケアシステム）」の構築
- 2) 認知症疾患医療センターやかかりつけ医などの医療と福祉との連携体制の強化
- 3) 家族支援の強化
- 4) 地域での見守り体制の推進

#### （2）岡山市の特色

##### 1) 認知症支援チームの設置

- ・「初期支援チーム」は、地域に身近な地域包括支援センターに設置し、早期の診療と対応、継続的な支援を行う。
- ・「基幹型支援チーム」は、専門職（保健師・精神保健福祉士・作業療法士・主任ケアマネ・医師など）により構成し、初期支援チームおよびケアマネを支援する。

##### 2) 認知症カフェの開設

- ・認知症の人と家族の地域での居場所づくりを通して、家族支援を進める。
- ・「認知症カフェ」と併せて、「認知症サテライト相談」及び「認知症介護講習会」をセットで実施することで、認知症に対する地域の拠点とする。

##### 3) 認知症サポートリーダーの養成

- ・認知症サポーターのリーダーとして、積極的に認知症のサポートや普及啓発に努めるボランティアを養成し、地域における認知症の支援体制強化を進める。

### 3 事業費

- （1）歳出額
- |                |          |
|----------------|----------|
| ・認知症対策等総合支援事業費 | 1,477千円  |
| ・認知症地域支援事業費    | 10,734千円 |
| ・認知症サポーター事業費   | 983千円    |

#### （2）財源内訳

- |       |         |       |         |             |
|-------|---------|-------|---------|-------------|
| ・国補助金 | 5,335千円 | ・県補助金 | 2,314千円 |             |
| ・一般財源 | 3,084千円 | ・その他  | 2,461千円 | 合計 13,194千円 |

担当課名	保健福祉局高齢者福祉課
担当者名	課長 大畑 誠
電 話	内線5960 直通803-1230

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 犬島において介護サービスを提供する訪問介護事業者等に対する助成

### 1 事業の趣旨

本市唯一の離島である犬島については、島という地理的制約により訪問系サービスが利用しにくいなど、本土との間に介護サービスの格差が生じているため、島へ渡ってサービス提供を行う事業所に対して渡船代等を助成する。

### 2 事業内容

#### (1) 対象者

犬島に居住する要介護被保険者に対して、訪問介護等を提供する事業者

#### (2) 補助対象

訪問介護等を提供する際、事業者が負担した渡船代等を実費補助

#### (3) 実施方法

事業者からの申請に基づき精算払

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

介護訪問事業補助金 1,479千円

#### (2) 財源内訳

一般財源 1,479千円

担当課名	保健福祉局介護保険課
担当者名	課長 河野 清久
電 話	内線 5780
	直通 803-1240



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 養護老人ホーム整備助成事業

### 1 事業の趣旨

平成25年4月に運営を移譲した民間社会福祉法人による養護老人ホーム玉松園建替え整備事業に対して、工事請負費等の経費の助成を行うもの。

### 2 事業内容

#### (1) 対象者

養護老人ホームの建替え整備を行う社会福祉法人。

#### (2) 補助対象

補助対象は、工事請負費等の施設整備に要する経費等。

#### (3) 実施方法

補助事業完了後、法人からの実績報告に基づき助成金額を確定し、補助金を交付する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・養護老人ホーム玉松園改築補助金 300,000千円

#### (2) 財源内訳

・地方債 300,000千円

担当課名	保健福祉局高齢者福祉課
担当者名	課長 大畑 誠
電 話	内線 5960
	直通 803-1230

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 生涯現役社会づくり事業

### 1 事業の趣旨

現役引退後も一人ひとりのニーズや適性に応じて、生きがい活動、社会貢献活動、企業等、幅広いステージで活躍・活動することにより、健康寿命の延伸にも繋がる「生涯現役社会」の構築に向けて、高齢者が引き続き活躍し地域社会に貢献できる就労や社会参加を支援する方策について検討する。

### 2 事業内容

- (1) 持続可能な生涯現役社会の構築に向け、外部有識者を交えた研究会の開催
- (2) 地域社会で高齢者が活躍できる場を考え、働く意欲のある高齢者をその場につなげる仕組みの検討
- (3) 高齢者や企業等への周知・PR等の方策の検討

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・生涯現役社会づくり事業費 1,100千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 1,100千円

担当課名	保健福祉局高齢者福祉課
担当者名	課長 大畑 誠
電 話	内線 5960
	直通 803-1230

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 新岡山市民会館等整備事業

### 1 事業の趣旨

岡山市民会館は築後50年を迎え、バリアフリー化、耐震化が未対応であることや老朽化、舞台設備がニーズに合わなくなっているといった課題を抱えている。

また、市民文化ホールにおいても同様の課題を抱えている。

このため、文化の薫るまちづくりの新たな拠点としての再整備について検討していく。

### 2 事業内容

平成26年度においては、「あり方検討会」での意見をもとに、必要な機能や採算性、整備・運営手法等をさまざまな角度から総合的に調査・研究し、基本構想を策定していく。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・旅費	1,000千円
・消耗品費	500千円
・印刷製本費	500千円
・通信運搬費	500千円
・調査委託料	4,000千円
・使用料及び賃借料	500千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源	7,000千円
-------	---------

担当課名	市民局文化振興課
担当者名	課長 渡邊 貢
電 話	内線 3740 直通 803-1054

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 おかやまマラソン（仮称）

### 1 事業の趣旨

県民・市民総参加の大規模なフルマラソン大会を開催し、生涯スポーツの推進に寄与し、元気と感動を与えるスポーツの力によるまちづくりを推進するとともに、全国に岡山を情報発信する。

### 2 事業内容

岡山県、岡山陸上競技協会他関係団体と平成27年秋季の第1回大会開催に向けて検討・準備を進める。

＜事業実施スケジュール＞

年 度	スケジュール
平成25年度	基本構想策定 実施計画中間とりまとめ
平成26年度	準備委員会事務局設立 実施計画策定 実行委員会設立 コース設定
平成27年度	第1回大会開催諸準備 第1回大会開催（11月予定）

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・おかやまマラソン（仮称）開催準備事業費負担金      23,411千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源      23,411千円

担当課名	市民局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740 直通 803-1615

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 岡山市競技力向上事業

### 1 事業の趣旨

岡山県を中心に開催されるH28年度全国高校総体や2020東京オリンピックへの出場が期待される世代の選手強化を図り、市のスポーツ振興の牽引役となり、市民にとっての誇りとなるトップアスリートを育成する。

### 2 事業内容

#### 【既存事業】

- ・選手の育成・強化
  - ① 競技スポーツ選手強化事業
  - ② 競技スポーツ技術交流事業
  - ③ 競技スポーツ選手派遣事業
  - ④ 岡山市トレーニングセンター事業
- ・指導者の養成
  - ① 競技スポーツ指導者研修事業
  - ② 競技スポーツ指導者派遣事業

#### 【拡充事業】

- ・H28インターハイターゲットエイジ強化事業  
H28年度に高1～3年生となる年代（H26年度は中2～高1）の選手を対象とする選手強化・育成
- ・オリンピック選手招聘事業  
オリンピック出場経験のある選手を外部指導者として招聘して行う選手育成・強化・指導者養成

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・岡山市競技力向上事業助成金 7,000千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 7,000千円

担当課名	市民局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740
	直通 803-1615

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 企業誘致ターゲット等の拡充

### 1 事業の趣旨

本市の強みである中四国への交通アクセスの良さや自然災害の少なさ、人材の豊富さなどを活かして、本社や中四国支店等の立地を推進し、雇用機会の創出、中心市街地の賑わいづくり、地域経済の活性化を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 本社・中四国支店等立地推進事業補助金の創設

##### 建設型

- ・土地固定資産評価額×3%+建物固定資産評価額×9%（限度額3億円）  
（増設の場合は補助率、限度額ともに1/2）
- ・新規常用雇用者1人当たり20万円（限度額なし）  
（障害者の雇用については1人当たり40万円）

##### 賃借型

- ・事務所整備費（施設整備費、事務機器購入費）の1/2（限度額300万円）
- ・新規常用雇用者1人当たり20万円（限度額なし）  
（障害者の雇用については1人当たり40万円）

#### (2) 誘致活動

- ・企業立地フェアへの出展
- ・企業アンケートの実施

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・企業立地推進事業費 1,500千円

#### (2) 財源内訳

- ・一般財源 1,500千円

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 堤 修治
電 話	内線 4520
	直通 803-1323

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 販路拡張助成事業

### 1 事業の趣旨

市内で開発・製造された製品の販路拡張のため見本市、展示会等に出展する市内の製造業及びソフトウェア業の方に対して、出展経費の一部を助成し、販路の拡張及び販売を促進し、市内産業の振興を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 補助対象者

下記①又は②に該当し、市税に滞納がない者

①市内に本社事務所又は主要工場を有し製造業を営むもの等

②市内に本社事務所及び開発の事業所を有しソフトウェア業を営むもの等

#### (2) 補助対象見本市等

県外（海外を含む）で開催される工業製品やソフトウェアの見本市等

#### (3) 補助額

消費税を除く1小間料の額とし、25万円を上限として補助。

但し、海外販路開拓を目的として海外で開催される見本市等へ出品する場合は、1小間料、展示装飾費、製品輸送費、通訳費、広報・宣伝活動費（パンフレット作成費等）の額とし、40万円を上限に補助。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・販路拡張助成事業費補助金 11,850千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 11,850千円

担当課名	経済局 産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 堤 修治
電 話	内線 4520
	直通 803-1329

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 中小企業経営基盤強化事業

### 1 事業の趣旨

市内中小企業が社会環境、経済環境の変更にも対応できるよう、マル経融資利子補給により経営基盤の強化を図るとともに、中小企業支援のための人材育成等を行う。

### 2 事業内容

#### (1) マル経融資利子補給

##### ①対象者

岡山商工会議所、岡山北商工会、岡山西商工会、岡山南商工会（東児支所を除く）、赤磐商工会（瀬戸支所に限る）のいずれかの推薦を受け、マル経融資を借り受けたもの。

##### ②補助対象

補助対象融資を受けた後に支払った約定利子（延滞利子は除く）のうち、1年間分について利率1%分を補助。

##### ③実施方法

期間を1年延長し、平成27年3月31日までとする。

#### (2) 経営セミナーの開催

#### (3) 中小企業支援担当者研修

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・小規模事業者経営改善資金利子補給金	16,064千円
・経営セミナー開催経費	285千円
・中小企業支援担当者研修経費	333千円
合計	16,682千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源	16,682千円
-------	----------

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 堤 修治
電 話	内線 4528
	直通 803-1325



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 岡山市求人開拓事業

### 1 事業の趣旨

若年者の採用に意欲的な市内中小企業の求人情報を開拓し、若年者に提供することにより、就職マッチングにつなげる。

### 2 事業内容

- (1) 大学等学生の就職希望（職種・業種等）の調査
- (2) 企業訪問による求人情報等の把握
- (3) 大学等キャリアセンター及びハローワーク等への求人情報等の提供

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・就業支援業務委託料 4,300千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源 4,300千円

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 堤 修治
電 話	内線 4520
	直通 803-1323

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 国際観光の推進  
（ESD世界会議に向けた外国人観光客の受入環境整備）

### 1 事業の趣旨

積極的な海外プロモーションに加え、「ESDに関するユネスコ世界会議」の開催により本市を訪れる外国人観光客の増加が予想される中、外国人観光客の利便性向上に大きな効果がある観光案内所等における受け入れ体制を強化するとともに、岡山駅等を活用した情報発信を行う。

### 2 事業内容

#### (1) ももたろう観光センターの拠点性向上

ももたろう観光センターへハングル・中国語対応のスタッフを配置し、受け入れ体制の強化を図るとともに、パンフレットコーナーの移設などの改修を行い拠点性の向上を図る。

#### (2) 駅中等活用事業

岡山駅、岡山空港に、「ESDに関するユネスコ世界会議」のエクスカージョン地として有望であるとともに国立公園指定80周年を迎える瀬戸内海をテーマとした広告物を掲出する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

○ももたろう観光センターの拠点性向上	12,795千円
○駅中等活用事業	7,700千円
合 計	20,495千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源	20,495千円	合 計 20,495千円
-------	----------	--------------

担当課名	経済局 観光コンベンション推進課
担当者名	課長 橋本 哲哉
電 話	内線 4530
	直通 803-1332

## 平成26年度当初(案) 補足資料

〔事務事業名〕 たけべ八幡温泉郷再整備事業

### 1 事業の趣旨

新市基本計画(ハード事業)に定められた事業として、現行の「建部町温泉会館」と「建部町温泉宿泊研修センター(以下「サンタケベ」という。)」をサンタケベに集約して新たな施設に建て替える。

当該事業は、八幡温泉郷一帯を「観光レクリエーションの振興と環境との共生」をコンセプトに整備を行うことで、温泉や豊かな自然環境、安全・安心な農作物等の地域資源を生かし、交流人口の増加を図ろうとするもの。

### 2 事業内容

#### (1) たけべ八幡温泉郷温泉施設改築工事

現行のサンタケベを解体し、同所に鉄筋コンクリート造平屋建て(延床面積1,217.17㎡)の日帰り入浴を基本とした温泉入浴施設を建設

#### (2) 工事期間

平成25年度から平成26年度まで

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・手数料(建築確認手数料)	77千円
・委託料(建築工事監理業務委託料)	10,000千円
・委託料(家屋補償調査業務委託料)	1,203千円
・備品購入費	24,340千円
・工事請負費	484,380千円
合 計	520,000千円

#### (2) 財源内訳

・地方債(過疎債)	494,400千円
・一般財源	25,600千円
合 計	520,000千円

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 橋本哲哉
電 話	内線 4530
	直通 803-1333

## 平成26年度当初(案) 補足資料

〔事務事業名〕 コンベンションシティの体制整備

### 1 事業の趣旨

コンベンション開催地としての魅力の向上と発信に官民で取り組むなど「岡山市コンベンション戦略プラン」に沿った積極的なコンベンション誘致策を展開する。

### 2 事業内容

#### (1) オール岡山の推進体制の構築に向けた調査

「岡山市コンベンション戦略プラン」で示す施策の方向性をのうち、ソフト面の「オール岡山の推進体制」に関して、先進事例の分析等を踏まえ、本市に最適なコンベンションの誘致、支援などの推進体制の在り方を調査するもの。

#### (2) コンベンション誘致・支援に活用する岡山市紹介動画等作成

効率的な誘致・支援活動に活用するため、コンベンション開催地としての本市の魅力をPRする動画等日本語・英語で作成する。

#### (3) コンベンション開催補助金の交付等

コンベンションの開催支援として、宿泊者数に応じた補助金を交付するほか、託児サービス助成や歓迎看板の設置などを行う。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・オール岡山の推進体制の構築に向けた調査	3,000千円
・コンベンション誘致・支援に活用する岡山市紹介動画等作成	2,500千円
・コンベンション開催補助金の交付等	26,182千円
合 計	31,682千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源	10,682千円
・岡山コンベンションセンター寄附金	21,000千円
合 計	31,682千円

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 橋本哲哉
電 話	内線 4530
	直通 803-1333

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 海外MICE等誘致戦略（海外シティプロモーション）

### 1 事業の趣旨

本市の知名度や都市イメージの向上及び地元への経済波及等を目的として、平成22年度からシティプロモーションを本格的に実施している。海外においては、昨年からは東アジアに加え、東南アジアでのプロモーションに取り組んでおり、引き続きこれらの都市をターゲットにプロモーションを展開する。

### 2 事業内容

#### (1) 現地プロモーションの実施

これまで対象としてきた東アジア（中国、台湾、韓国）・東南アジア（タイ）でのプロモーションを引き続き実施する。これまで行ってきたセミナーや旅行社訪問での観光客誘致に加えて、イベント等への参加により本市の知名度向上を図る。

#### (2) 広告媒体の活用

インターネット等を活用した広告媒体の活用により、海外での情報発信を強化する。

#### (3) 助成制度の拡充

本市を訪れる旅行商品造成のインセンティブとして、現在設けている宿泊を条件とした岡山市外国人観光客誘致促進事業助成金の制度を拡充する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

○現地プロモーションの実施	7,930千円
○広告媒体の活用	2,440千円
○助成制度の拡充	4,800千円
合 計	15,170千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源	15,170千円	合 計	15,170千円
-------	----------	-----	----------

担当課名	経済局 観光コンベンション推進課
担当者名	課長 橋本 哲哉
電 話	内線 4530 直通 803-1332

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 移住定住の支援

#### 1 事業の趣旨

「災害が少なく住みやすい都市」として岡山市の全国的な認知度が高まっている機会を捉え、様々なメディアを活用して総合的に情報発信するとともに、移住者支援組織など、民間と連携・協力しながら、様々な移住・定住促進に向けた支援策を展開し、地域の活性化等につなげていきます。

#### 2 事業内容

##### (1) 様々なメディアを活用した情報発信

専用ウェブサイトや移住関連雑誌等を活用し、本市の住みやすさに関する魅力、既移住者の体験談や感想、行政サービス情報、民間の移住者支援組織の情報などを総合的に発信します。

##### (2) 移住相談会の開催

移住者支援組織など、官民が連携・協力し、本市への移住希望が多い関東圏（東京）にて移住相談会を開催します。また、相談会後も継続的なサポートを行うことで、移住のマッチングにつなげていきます。

##### (3) 移住先下見ツアーの開催

移住者支援組織など、官民が連携・協力し、一度の下見で多くの情報が得られる下見ツアーを開催します。また、ツアー後も継続的なサポートを行うことで、移住のマッチングにつなげていきます。

##### (4) 「お試し住宅」の提供

市営住宅を活用して、県外から移住を希望される方へ、仕事や住まいの確保など移住・定住準備のためにお使いいただける「お試し住宅」を提供します。

##### (5) 被災大学生への市営住宅の提供

市営住宅を活用して、東日本大震災により被災し岡山大学に入学する方で、同大学から推薦された学生に、在学期間中の住居を提供します（岡山大学、岡山経済同友会、岡山市の3者連携による「学・職・住」の支援の一環）。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

19,400千円

##### (2) 財源内訳

一般財源 19,400千円

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 小野 典生
電 話	内線 3590
	直通 803-1042

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 安全で安心な食の提供（地産地消の推進）

1 事業の趣旨 地元で生産された新鮮で安心な地場産農産物の情報提供や、イベント開催を通じて、生産者と消費者の交流を推進し岡山市の優れた農産物の地産地消をPRします。

### 2 事業内容

- ・産直市や米粉料理教室、米粉フェスタ、スタンプラリーの開催
- ・直売所マップ、レシピ集、パンフレットの作成
- ・農産物を直接販売する農業者の紹介
- ・農作業体験等への支援
- ・農業者と加工・販売業者とのマッチング
- ・農水産業者が販売業者・飲食業者と協力して行うPR活動や商品開発への活動や商品開発への支援

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・ 8,000千円

#### (2) 財源内訳

- ・ 国庫支出金（補助率 国1/2）600千円
- ・ 一般財源 7,400千円 合計8,000千円

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 村田 守
電 話	内線 4540
	直通 803-1346

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 果物・野菜生産の担い手の確保・育成と  
ブランド化の推進

### 1 事業の趣旨

岡山ブランドとして評価の高い白桃やぶどう、黄ニラ等の生産を支える担い手への支援施策等の拡充や、販路の拡大を図ることで、持続可能な力強い農業の育成を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 担い手の確保

- ・首都圏等で開催する就農相談会
- ・技術習得のための実地研修
- ・就農直後の所得確保のための給付金交付

青年就農給付金（経営開始型）      就業奨励金

#### (2) 経営の強化

- ・生産性向上のための施設整備・機械導入等に対する補助

経営体育成支援事業      力強い農業づくり交付金

#### (3) 販路の拡大

- ・首都圏、関西圏等でのPR活動
- ・地場産農産物を使った商品開発に対する支援

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

216,336千円

#### (2) 財源内訳

- ・県補助金（補助率 県10/10～1/2以内・基準単価） 202,048千円
- ・一般財源 14,288千円                      合計 216,336千円

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 村田 守
電 話	内線 4540
	直通 803-1346



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 有害鳥獣対策

### 1 事業の趣旨

農業者や住民の方々が耕作地や生活空間のあり方を十分に理解し、有害鳥獣が出没しにくい環境づくりに取り組むための支援等を行う。

講演会の開催等を通じ、住民自らが、野生鳥獣の生態を理解し、これらが出没しにくい環境づくりに取り組む意識の醸成を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 農作物鳥獣害防止対策事業

- ・侵入防止柵の設置（県補助1/2・市補助1/6）

#### (2) 有害獣の捕獲

- ・捕獲柵（檻）設置（県補助1/2）
- ・有害獣の捕獲補助（県補助 固体別単価）  
〔補助対象：イノシシ・ヌートリア・シカ〕
- ・捕獲活動を担う駆除班（猟友会等）の活動支援

#### (3) 住民に対する啓発活動

- ・住民を対象とした普及啓発活動の強化（パンフレット新聞折込配布）
- ・鳥獣対策講演会
- ・フィールドワーク

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

35,310千円

#### (2) 財源内訳

- ・県補助金（補助率 県1/2以内・定額） 7,782千円
- ・一般財源 27,528千円 合計 35,310千円

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 村田 守
電 話	内線 4540
	直通 803-1346

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 北消防署整備事業

#### 1 事業の趣旨

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震に対応できうる耐震性を有した消防庁舎の整備を実施する。

岡山市の中心部を管轄し、岡山市消防全体の総合防災拠点の根幹を担う最重要施設として震災時・災害時の機能強化維持を図るため、昭和47年に建設されて以来、既に41年が経過し、「新耐震基準」に適合していない北消防署庁舎を建て替え、災害に強い防災拠点の整備を進める。

#### 2 事業内容

- ・大型特殊車両の配備可能な免震構造を有した消防庁舎建築に向け、平成25年度から引き続き実施設計を行うとともに、建築工事に着手する。
- ・東日本大震災時に消防車両の迅速な活動の障害となった燃料不足解消のため、自家給油取扱所を整備する。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

・実施設計費、建築工事費、工事監理費 985,000千円

##### (2) 財源内訳

・起債 885,400千円

・一般財源 99,600千円 合計 985,000千円

担当課名	消防局消防企画総務課
担当者名	課長 青島 隆彦
電 話	内線 3771
	直通 234-0119

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 住宅・建築物耐震改修等補助事業

### 1 事業の趣旨

南海トラフによる巨大地震の可能性が高いと指摘され、本市にも多大な影響を受けると懸念されるなかで、市民の安心・安全を確保するために、木造住宅の耐震診断、耐震改修及び建築物の耐震診断の補助を行い耐震化の促進を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 対象建築物

市内に存する住宅・建築物で、昭和56年5月31日以前に着工されたものなど、市の要綱に合致するもの。

#### (2) 補助対象者

対象建築物の所有者で、市税を完納しているなど市の要綱に合致するもの。

#### (3) 診断・改修補助内容

- ・〔耐震診断〕・・・木造住宅・建築物 \*網掛け部は拡充部分

		補助率	補助額（上限額）
木造住宅	耐震診断	定額	200㎡以下 40千円、200㎡超え 50千円
	補強計画	2/3	200㎡以下 28千円、200㎡超え 35千円
戸建て住宅	耐震診断	2/3	84千円
建築物	耐震診断	2/3	1,500千円～3,000千円 (用途・規模により異なる。)
大規模建築物	耐震診断	2/3	5,000千円

- ・〔耐震改修〕・・・木造住宅 \*網掛け部は拡充部分

	補助率	補助額（上限額）
全体改修	1/2	800千円
部分改修	1/2	一般：200千円、高齢者等：400千円
耐震シェルター	1/2	一般：100千円、高齢者等：200千円
防災ベッド	1/2	一般：50千円、高齢者等：100千円

※高齢者等とは、高齢者又は障害者の方が居住している世帯、又は低所得者世帯

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

- ・木造住宅・建築物耐震診断補助金（補強計画含む） 110,200千円
- ・木造住宅耐震改修補助金 52,350千円
- ・避難路指定沿線建築物調査費用等 12,150千円

#### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 86,850千円
  - ・県支出金 40,274千円
  - ・一般財源 47,576千円
- 合計 174,700千円

担当課名	都市整備局建築指導課
担当者名	課長 久保 代士夫
内線	内線 4610
直通	803-1445

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 学校園耐震改修整備事業

### 1 事業の趣旨

「市有建築物の耐震化計画指針」を踏まえ、校舎の耐震化を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 校舎耐震改修及び改築工事の実施設計

耐震診断の結果、緊急性・必要性の高い棟を含む学校の改修・改築工事  
実施設計を行う。

耐震改修：小学校19校37棟、中学校8校14棟

耐震改築：小学校1校3棟、中学校1校2棟

#### (2) 校舎耐震改修工事

小学校6校13棟、中学校8校16棟の耐震改修工事の実施

#### (3) 校舎耐震改築工事

小学校4校5棟、中学校4校9棟の耐震改築工事の実施

(うち小学校3校3棟、中学校1校1棟は平成25年度からの継続工事)

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・小学校耐震改修整備事業費	3,920,000千円
・中学校耐震改修整備事業費	3,320,000千円
合計	7,240,000千円

#### (2) 財源内訳

・国庫支出金 (補助率2/3, 1/2, 1/3)	1,180,827千円
・地方債	4,982,100千円
・一般財源	1,077,073千円

担当課名	教育委員会事務局学校施設課
担当者名	課長 佐々江 一男
電 話	内線 3807 直通 803-1576

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 下水道による浸水対策事業

#### 1 事業の趣旨

近年、大型化する台風や集中豪雨等による浸水被害が生じており、特に平成23年の台風12号は、市内の広い範囲で床上・床下浸水や道路冠水等の被害をもたらし、浸水対策事業の重要性が再認識されたところである。最新の市民意識調査においても、浸水対策への高い市民ニーズが示されている。

これらの現状を踏まえ、人口や資産が集積し広い範囲で浸水の危険性が高い地域において、重点的に浸水対策を図ることが必要である。

また、既存施設を活用した排水能力の向上など、効率的な浸水対策により浸水被害の軽減を図っていく必要がある。

#### 2 事業内容

##### (1) 重点的に対策を講じる地域での取組

広い範囲で浸水の恐れのある地域など重点的に対策を講じる必要がある地域での浸水対策について、事業計画を作成します。

##### (2) 排水能力の向上に向けた取組

浦安ポンプ場や当新田ポンプ場の雨水ポンプ増設など排水能力の向上を図っていきます。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

・下水道による浸水対策事業 1,042,600千円

##### (2) 財源内訳

・国補助金（補助率 国1/2） 446,350千円

・企業債、一般財源 596,250千円

担当課名	下水道局下水道経営計画課
担当者名	課長 三谷 成伸
電 話	内線 4910
	直通 803-1483

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 東山斎場再整備事業

### 1 事業の趣旨

東山斎場は、築後40年余を経過して老朽化が進んでおり、耐震化やバリアフリー化がされていないなどの課題を解決し、利用する市民が快適かつ安全に使用できる施設となるよう建替えを行うもの。

### 2 事業内容

＜事業実施スケジュール（予定）＞

平成26年度	駐車場及び雨水貯留槽整備工事、斎場再整備事業者選定
平成27年度 ～30年度	再整備事業（実施設計、新火葬棟建築工事等）

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・調査委託料	6,000千円
・工事請負費	342,892千円
・消耗品費	47千円
・食料費	30千円
・印刷製本費	381千円
・旅費	105千円
・報奨金	45千円
合計	349,500千円

#### (2) 財源内訳

・地方債	308,600千円
・一般財源	40,900千円
合計	349,500千円

担当課名	市民局生活安全課
担当者名	課長 内山 秀樹
電 話	内線 3230
	直通 803-1277

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 新斎場整備事業

### 1 事業の趣旨

東山斎場再整備事業に伴う火葬炉数の減と将来的な火葬需用に対する火葬炉数の不足を補うとともに災害時等のリスク分散の観点から新斎場を整備する。

### 2 事業内容

平成26年度は、新斎場を整備するための事前調査として、最終処分場跡地利用調査及び環境影響調査を実施する。

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

・調査委託料（最終処分場跡地利用調査）	44,712千円
（環境影響調査）	23,436千円
・清掃等委託料	3,200千円
・消耗品費	50千円
・食料費	30千円
・印刷製本費	272千円
合計	71,700千円

#### (2) 財源内訳

・一般財源	71,700千円
合計	71,700千円

担当課名	市民局生活安全課
担当者名	課長 内山 秀樹
電 話	内線 3230 直通 803-1277

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 空き家再生（リフォーム）活用促進モデル事業

#### 1 事業の趣旨

近年の高齢化の進展等により、適切な管理が行われていない空き家が防災、防犯、衛生、景観等の観点から大きな社会問題になっていることに鑑み、市民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう、空き家の再生改修（リフォーム）に係る経費の一部を助成して、その再生活用の促進を図ることを目的とする。

#### 2 事業内容

##### (1) 補助対象者

補助対象住宅の所有権を有する者

##### (2) 補助対象住宅

- ①補助申請時点で6ヶ月以上引き続いて居住する者のない一戸建ての住宅
- ②改修後、自己居住用、売却又は賃貸用として活用しようとする住宅
- ③耐震性能を有する住宅（当該事業と同時に耐震改修工事を行う住宅を含む）
- ④台所、水洗便所（当該事業と同時に水洗化するものを含む）、浴室、洗面設備及び収納設備を有する住宅
- ⑤建築基準法及び都市計画法のいずれにも適合した住宅

##### (3) 補助対象工事等

次に掲げる工事等で市内施工業者が施工するもの

- ①「耐震改修工事」、「バリアフリー改修工事」、「省エネルギー改修工事」のうち、少なくとも1つの工事を含む空き家再生改修工事で、その経費の合計が500千円以上の工事（但し、補助対象経費は、市の他の補助制度を利用できる工事等に係る経費を除く。）
- ②家財道具等の搬出処分及び屋内外の清掃（但し、補助対象経費は、①の補助対象経費の5分の1を上限とする。）

##### (4) 補助率等

補助対象経費の5分の1を補助し、500千円を上限とする。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

・空き家再生（リフォーム）活用促進モデル事業費補助金 30,000千円

##### (2) 財源内訳

・一般財源 30,000千円

担当課名	都市整備局住宅課
担当者名	課長 森本浩之
電 話	内線 4660
	直通 803-1466



平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 市民協働推進モデル事業提案制度

1 事業の趣旨

岡山市における公益課題の解決を官民協働の手法によってすすめる。そのために、協働によってより効果的に課題解決がすすむ事業を公募し、一般事業化のモデルとして協働での実施を行う。

2 事業内容

A 協働モデル事業（NPO提案型）

- ①方 法 市民団体から岡山市の社会課題と協働により解決する手段（事業）を担当課と協議の上、提案する。
- ②対 象 市内で活動するNPO法人等市民団体
- ③金 額 1事業上限200万円の範囲内補助する。
- ④補 助 率 10分の8以内

B 協働モデル事業（行政提案型）

- ①方 法 市担当課から解決をはかりたい岡山市の社会課題を提示し、協働による解決方法を募集する。
- ②対 象 市内で活動するNPO法人等市民団体 1団体1事業
- ③金 額 上限200万円の範囲内
- ④補 助 率 10分の10以内

3 募集・実施・評価

募集 平成26年4月 説明会 5月下旬 公募締切 6月 審査・決定  
実施 平成26年7月～平成27年2月 事業実施  
評価 平成26年9月 中間評価 平成27年4月 最終評価会・報告会

4 事業費

(1) 歳出額

・市民協働推進モデル事業補助金 8,000千円

(2) 財源内訳

一般財源 8,000千円

担当課名	安全・安心ネットワーク推進室
担当者名	課長 今尾 繁
電 話	内線 3276
	直通 803-1061

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 〔市民サービス拠点の整備〕  
東区役所、東消防署、東水道センターの整備

### 1 事業の趣旨

平成26年度中の開設に向け、東区役所、東消防署、東水道センターを合築により整備するための建築工事等を進めます。

### 2 事業内容等

(1) 事業期間 平成23年から平成26年度

(2) 平成26年度事業内容 建築工事等

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

建築工事等 1,165,707千円

#### (2) 財源内訳

・地方債 879,300千円

・負担金 98,025千円

・一般財源 188,382千円

合計 1,165,707千円

担当課名	市民局区政推進課	消防局消防企画総務課
担当者名	課長 安信 卓	課長 青島 隆彦
電 話	内線 3750 直通 803-1033	内線 3771 直通 234-0119

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 〔市民サービス拠点の整備〕  
中区役所の整備

### 1 事業の趣旨

平成27年度中の開設に向け、中区役所庁舎を現地に建替え整備するための建築工事等に着手します。

### 2 事業内容等

(1) 事業期間 平成24年から平成27年度（予定）

(2) 平成26年度事業内容 建築工事等

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

建築工事等 528,200千円

#### (2) 財源内訳

・地方債 479,200千円

・一般財源 49,000千円

合計 528,200千円

担当課名	市民局区政推進課
担当者名	課長 安信 卓
電 話	内線 3750 直通 803-1033

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 操山地区公民館建設事業

### 1 事業の趣旨

#### (1) 事業の経緯

老朽化し廃止の方向にある福祉文化会館に入居している中央公民館について、管理統括機能を本庁等へ移転し、新たに操山地区に地区公民館を整備する。

#### (2) これまでの取組

操山地区内の整備予定地の用地測量及び鑑定評価を平成25年8月から実施し、平成26年3月末までの予定で建物等の補償調査・算定を実施中である。

#### (3) 整備予定地の位置、面積

- ① 位置 岡山市中区国富3丁目664番地ほか（裏面参照）
- ② 面積 3,719.61㎡（実測）

### 2 事業内容

#### (1) 事業内容

・操山地区の公民館整備の基本構想を作成する。

#### (2) 事業スケジュール

平成26年度	基本構想作成
平成27年度以降	基本設計，実施設計，建設工事

### 3 事業費

#### (1) 歳出額

基本構想作成

・操山地区公民館整備事業 5,000千円

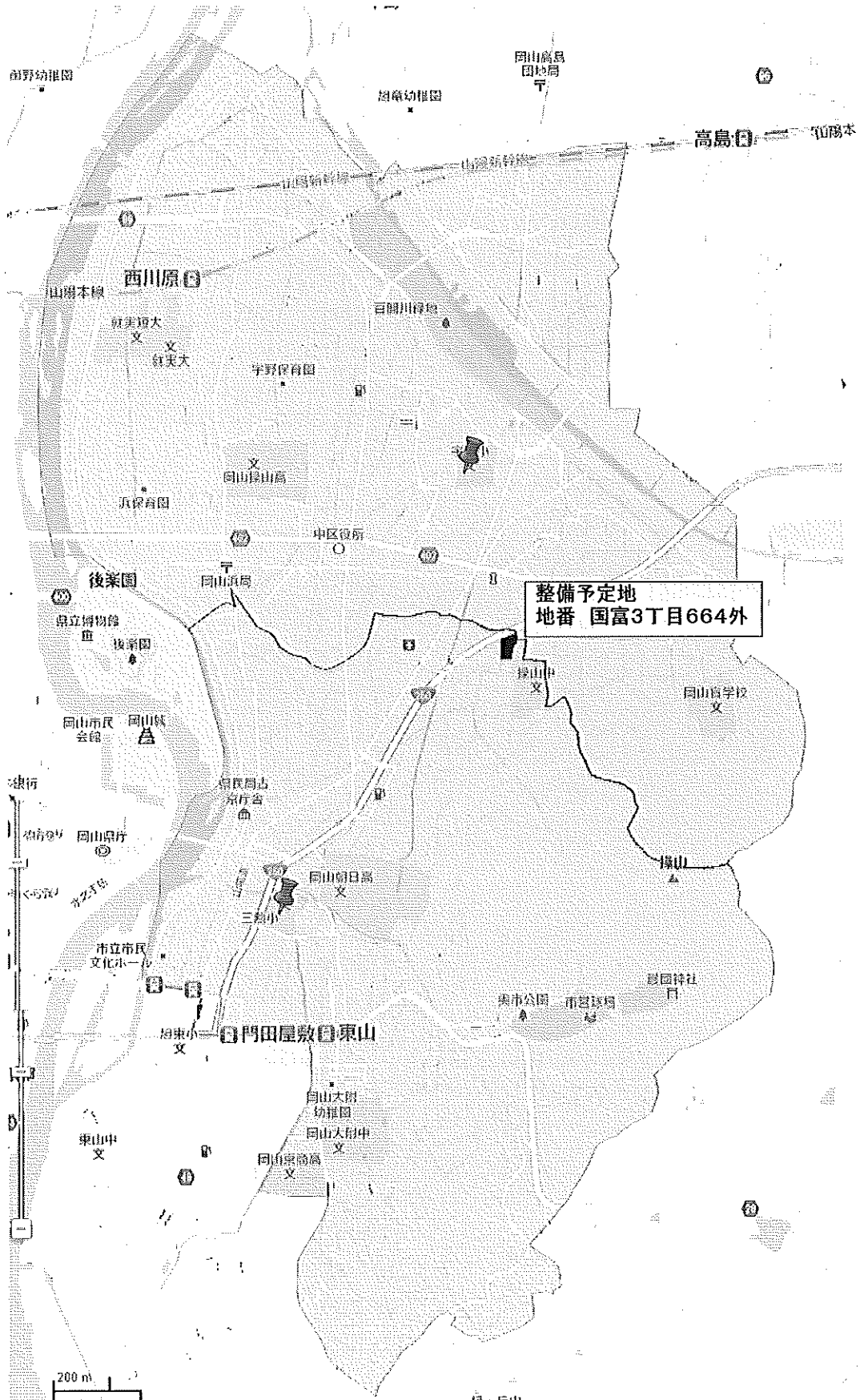
なお、用地取得等は公共用地取得事業費特別会計で実施

#### (2) 財源内訳

・一般財源 5,000千円

担当課名	教育委員会事務局生涯学習課
担当者名	課長 丸川 康一
電 話	内線 3867
	直通 803-1608

整備予定地位置図(操山中学校区エリア図)



## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 吉備公民館・吉備地域センター整備事業

### 1 事業の趣旨

公民館活動と市民サービスの新たな拠点として、老朽化している吉備公民館（昭和46年2月竣工）と吉備地域センター（昭和13年3月竣工）をより効率的・効果的な運営が行えるよう平成27年度中の完成を目指し、合築整備します。

### 2 事業内容

事業概要及びスケジュール

事業概要	実施年度	備 考
実施設計（現公民館解体，合築施設工事），地質調査	平成25年度	
現公民館解体	平成26年度	
合築施設工事，合築施設外構工事	平成26年度 ～平成27年度	平成28年度 オープン予定
現地域センター解体設計	平成27年度	
現地域センター解体及び外構工事	平成28年度	

### 3 事業費

#### （1）歳出額

・市民サービス拠点整備費	32,400千円	
・公民館建設事業費	289,600千円	合計 322,000千円

#### （2）財源内訳

・地方債（合併推進債）	275,900千円	
・一般財源	46,100千円	合計 322,000千円

担当課名	市民局区政推進課 教育委員会生涯学習課
担当者名	区政推進課長 安信 卓 生涯学習課長 丸川 康一
電 話	区政推進課 内線3750 直通 803-1033 生涯学習課 内線3867 直通 803-1608

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 社会保障・税番号制度導入への対応

### 1 事業の趣旨

「社会保障・税番号制度」に対応するため、現在稼働中の住民基本台帳システムの改修を行う。社会保障・税番号制度では、市町村長は、法定受託事務として、住民票コードを変換して得られる個人番号を指定し、書面により本人に通知しなければならないとされている。

### 2 事業内容

(1) 番号制度対応計画策定

(2) 番号制度対応開発作業

- ① 設計作業(要件定義、概要設計、詳細設計、プログラム設計)
- ② 製造
- ③ システムテスト(単体テスト、連携テスト、総合テスト)
- ④ 適用作業(仮適応、本番適応)

(3) 支援

- ① 操作研修の実施(4区役所)
- ② 本番立会(番号付番等)

### 3 事業費

(1) 歳出額 118,800千円

(2) 財源内訳

- ・国庫補助 81,515千円  
(住基システム改修、補助率10/10)
- ・一般財源 37,285千円

担当課名	市民局区政推進課
担当者名	課長 安信 卓
電 話	内線 3750 直通 803-1033

## 平成26年度当初予算（案）補足資料

### 〔事務事業名〕 公共施設マネジメント事業の推進

#### 1 事業の趣旨

市有施設の長寿命化とトータルコストの縮減・平準化及び安全・安心かつ効率的・効果的な市民サービス提供体制の実現に資する市有施設のあり方の検討を行うため、市有施設の保全状況の調査と現況に関する情報の一元管理を行う。

#### 2 事業内容

##### (1) 市有施設の劣化度調査

平成25年度より始めた市有施設（学校、市営住宅を除く。対象施設数：約460施設）の保全状況に関する現地調査について、平成26年度中に施設の調査を完了する。

##### (2) 市有施設管理支援システム開発

市有施設に関する各種情報（所在地、建築年、施設規模、利用状況、保全状況、コスト情報等）を包括的に一元管理し、ライフサイクルコストの計算や中長期の修繕計画の作成、各施設の効率的運営に資する各種分析等を行うためのシステムの開発・導入を委託する。

#### 3 事業費

##### (1) 歳出額

- ・施設保全管理事務費 79,170千円
  - (1) 市有施設劣化調査作業委託 64,800千円
  - (2) 施設管理支援システム開発委託 13,800千円  
(債務負担行為設定：平成26～32年度 18,000千円)
  - (3) その他（需用費、備品購入費他） 570千円

##### (2) 財源内訳

- ・一般財源 79,170千円 合計 79,170千円

担当課名	財政局財産管理課
担当者名	課長 井上満千夫
電 話	内線 4430
	直通 803-1760